

総目次

—— 第31巻第3号～第40巻第4号 ——

創刊号～第31巻第2号の総目次については、本誌第21巻第3号、経済学部創設40周年記念号、1990年2月刊、および第31巻第3号、経済学部創設50周年記念号、1999年12月刊、を参照されたい。

第31巻第3号 (1999年12月)

経済学部創設50周年記念号

- 経済学部創設50周年記念号の発刊にあたって
論 説
Migrants in Middlesbrough in the Nineteenth Century :
A possibility of study on a longitudinal migration profile and others
レビュー業務と中間監査
「価値化」とその主体
「普通理解力」で読むヘーゲル論理学の「有論」
資本の回転と利潤率
翻 訳
近年のグローバリゼーションと法人企業世界の構造変化
…… 講演 ウィリアム・キングスレイ・キャロル
私的覚書
経済学部 教育改革への挑戦 (1989～1999年)
回 想
商経学部発足当初の学生生活
教員名簿
〈旧在職者〉
〈現在職者〉
総目次
〈第21巻第1号～第31巻第2号〉
- 岩 下 弘
Minoru Yasumoto
飯 岡 透
阿 部 弘
大 石 雄 爾
大 吹 勝 男
瀬戸岡 紘
清 水 卓
橋 本 貞 和

第31巻第4号 (2000年3月)

洪谷隆一先生退任記念号

論 説	洪谷隆一先生を送る	岩 下 弘
	バブルによる資産インフレと富の移転	
	－マクロ統計による家計部門および法人企業部門分析－	里 中 恆 志
	経済の新しい時代はきているのか	
	－現下アメリカの好況をめぐる議論によせて－	瀬戸岡 紘
研究ノート	インターネットビジネスの原理と動向	中 濟 光 昭
	洪谷隆一先生略歴／研究業績一覧	

第32巻第1号 (2000年6月)

論 説

	道徳と政治 ー市民概念の変化と道徳体系ー	阿 部 弘
--	----------------------	-------

研究ノート

	プログラミング言語のコミュニケーション能力と社会システムの関係	中 濟 光 昭
--	---------------------------------	---------

調査報告

	大学の経理研究所の会計教育についての一考察	中 原 章 吉
--	-----------------------	---------

第32巻第2・3・4合併号 (2001年3月)

遠藤孝先生・寺中良二先生退任記念号

論 説	遠藤教授・寺中教授を送る	岩 下 弘
	経済学部40年在籍記	
	－発展の軌跡とそこにある諸問題－	遠 藤 孝
	企業論研究講義	寺 中 良 二
	中間財務情報と有用な会計情報	飯 岡 透
	衣の社会経済史 (I) ー19世紀ロンドンの古着流通ー	友 松 憲 彦
	企業会計の機能と会計規制	小 栗 崇 資
	「環境の世紀」の「ジェンダー」組織化	鈴 木 幸 毅
	「普通理解力」でヘーゲルの「成」概念を吟味する	大 石 雄 爾
	アメリカにおける市民意識の変化	
	－2000年大統領選挙の接戦に見る－	瀬戸岡 紘
研究ノート	〈南北格差〉論の陥穽 ー南北問題ノート (1) ー	徳 永 俊 明

目 次

社会的統制機能の一考察	加藤利安
資料	
「事実調査委員会」に提出されたグッドイヤー社の報告書 (1935年11月)	
書評	堀龍二
井上昭一・黒川博・堀龍二編著	
『アメリカ企業経営史—労務・労使関係の視点を基軸として—』	百田義治
遠藤先生・寺中先生略歴・研究業績一覧	

第33巻第1・2合併号 (2001年9月)

論説	
会計監査人監査の特質	森田佳宏
インターネット広告の技術的展開	中濟光昭
明治前期綿糸紡績業における企業内職工養成制度	谷敷正光
研究ノート	
〈人間〉の4要素 —〈南北問題〉ノート (2) —	徳永俊明

第33巻第3・4合併号 (2002年3月)

飯岡透先生・石井啓雄先生退任記念号	
飯岡教授・石井教授を送る	阿部弘
論説	
わが国監査制度の展開と課題	飯岡透
デフレスパイラル下のデフレ政策 —平成恐慌への途—	福原好喜
ヒックスはパレートの無差別図表をいかに受容したか？	大石雄爾
明治後期綿糸紡績業における企業内職工養成制度	谷敷正光
研究ノート	
〈人間〉への4条件 —〈南北問題〉ノート (3) —	徳永俊明
飯岡透先生略歴・研究業績一覧	
石井啓雄先生略歴・研究業績一覧	

第34巻第1号 (2002年6月)

論説	
「普通の理解力」で読むヘーゲル論理学の「定有論」	大石雄爾
誘因制御問題における共有知識の役割	松井柳平
研究ノート	
〈生活〉とは何か —〈南北問題〉ノート (4) —	徳永俊明

第34巻第2号 (2002年9月)

論 説

- ドイツ会計制度におけるバランスト・スコアカードの適用形態
 - M. Pollanzの所説に基づいて - 石 川 祐 二
- 韓国財閥史的展開論 I
 - 分断体制資本主義の成立と韓国財閥 - 鄭 章 淵

研究ノート

- 〈富〉と〈貧困〉, 〈豊かさ〉 - 〈南北問題〉 ノート (5) - 徳 永 俊 明

第34巻第3・4合併号 (2003年3月)

論 説

- 新渡戸と軍国主義 福 原 好 喜
- 企業管理の文脈におけるドイツのストック・オプション会計制度
 - N. Herzig / U. Lochmannの所説に基づいて - 石 川 祐 二

研究ノート

- 〈価値〉と〈価値観〉の問題へ - 〈南北問題〉 ノート (6) - 徳 永 俊 明

書 評

- 伊藤健市・田中和雄・中川誠士編著
 『アメリカ企業のヒューマン・リソース・マネジメント』
 (税務経理協会 2002年5月) 堀 龍 二

第35巻第1号 (2003年6月)

論 説

- リカードの外国貿易観と諸資本の競争 大 石 雄 爾
- 衣の社会経済史 (II) - 前工業化社会の労働大衆衣料 - 友 松 憲 彦

研究ノート

- 〈価値観〉の〈分裂〉の問題 - 〈南北問題〉 ノート (7) - 徳 永 俊 明

書 評

- 木村剛著『竹中プランのすべて』
 (アスキー・コミュニケーションズ 2003年3月) 石 川 純 治
- 須藤時仁著『イギリス国債市場と国債管理』
 (日本経済評論社 2003年) 代 田 純

第35巻第2号 (2003年9月)

論 説

- デフレ不況下の商工自営業者の実態について 吉 田 敬 一

総 目 次

- グローバル経済への依存を強めたアメリカ「中産市民」
—20世紀末不況と好況が「中産市民」にあたえた経済的効果— 瀬戸岡 紘
「普通の理解力」で読むヘーゲル論理学の「向自有論」 大石 雄爾
- 研究ノート
井尻講演「変遷75年の米国会計基準とその環境」の論点 石川 純治

第35巻第3号 (2003年12月)

論 説

- 「工場法」制定と綿糸紡績女工の余暇
—工場内学校との関連で— 谷 敷 正 光
- ドイツのリスク・マネジメント制度の会計的意味
—会計制度としてのリスク・マネジメント— 石 川 祐 二
- 韓国財閥史的展開論 II
—「開発年代」の到来と財閥資本— 鄭 章 淵

翻訳・解題

- 21世紀初頭フランス農業問題の所在 清 水 卓

第36巻第1号 (2004年8月)

論 説

- The Economic and Social Backgrounds of Neo-liberalism
and U. S. Unilateralism 瀬戸岡 紘
- 現代企業会計の全体的あり方
—「配分」と「評価」の関係性を巡って— 石 川 純 治
- 利率率の無限次元性に起因する整合性問題 荒 木 勝 啓

研究ノート

- ウェルフェア・キャピタリズムと戦後アメリカ労使関係の特質 百 田 義 治
堀 龍 二

第36巻第2号 (2004年11月)

論 説

- グローバリゼーションと中小企業の岐路（上） 吉 田 敬 一
いま流行の「帝国」論について 瀬戸岡 紘

翻 訳

- アンソニー・J・ポラード「中世後期英国史研究の最近の動向」 安 元 稔

第36巻第3号 (2004年12月)

論 説

- | | |
|------------------------|---------|
| マーケティング・モラルの構築に関する試論 | 曾 我 信 孝 |
| 信託銀行の変貌と投資信託の将来像 | 代 田 純 |
| 韓国財閥史的展開論 III | |
| －重化学工業化時代と財閥資本－ | 鄭 章 淵 |
| グローバルゼーションと中小企業の岐路 (下) | 吉 田 敬 一 |

第36巻第4号 (2005年3月)

論 説

- | | |
|--|---------|
| 利子と時間－Immunizationの多次元化問題を通じての考察(1)－荒木勝啓衣の社会経済史(III) | 荒 木 勝 啓 |
| －19世紀イギリス都市労働大衆の衣料消費－ | 友 松 憲 彦 |
| 今経済学が解かなければならない問題 | |
| －デフレスパイラル脱出の途－ | 福 原 好 喜 |
| ソ連大祖国戦争期の配給切符制度と労働者 | 堀 野 昌 聰 |

第37巻第1号 (2005年8月)

論 説

- | | |
|---|---------|
| The Economic and Social Backgrounds of Japanese Government's Cooperation with the Unites States | |
| －Why Does Japan Dispatch the Self Defense Force into Iraq?－ | 瀬 戸 岡 紘 |
| 明治期綿糸紡績業における学齢児童労働者と初等教育法 | 谷 敷 正 光 |
| リスク・マネジメント会計制度における状況報告書と決算監査の意味 | |
| －貸借対照表改革法の影響－ | 石 川 祐 二 |

研究ノート

- | | |
|------------------|-------|
| 簡易保険と証券投資：現状と将来像 | 代 田 純 |
|------------------|-------|

書 評

- | | |
|---------------|---------|
| 渡邊 泉『損益計算の進化』 | 石 川 純 治 |
|---------------|---------|

第37巻第2・3・4合併号 (2006年3月)

論 説

- | | |
|-------------------------------|---------|
| 韓国財閥史的展開論 IV－民主化の進展と財閥資本の新展開－ | 鄭 章 淵 |
| 日本版概念フレームワークの立脚点－4つの基礎論的視点から－ | 石 川 純 治 |

総 目 次

1990年代以降のCAP改革とフランスの大規模畑作の対応

— エール・エ・ロワール県を事例に —

清 水 卓

第38巻第1・2合併号 (2006年12月)

論 説

オランダ金融子会社にみる多国籍企業内国際マネーフロー

小 西 宏 美

「独占価格と生産価格」 — 独占価格論解明のために —

市 村 昌 利

日本銀行の国債オペレーションによるイールドカーブへの影響

勝 田 佳 裕

書 評

細井浩一『コーポレート・パワーの理論と実際

— Intercompany Approachによる会社間関係の構造分析』

岩 波 文 孝

代田 純『図説 やさしい金融財政』

吉 田 暁

第38巻第3号 (2007年2月)

論 説

バブル後の財政金融と企業部門への所得移転

里 中 恆 志

工場法、改正工場法の制定と学齢児童労働者

— 綿糸紡績業を中心に —

谷 敷 正 光

「現代CSR」の論理とその制度化

山 下 裕 介

第38巻第4号 (2007年3月)

論 説

資金計算書の歴史的展開と数学的展開

— その照応関係の一視点 —

石 川 純 治

絶対的剰余価値生産と標準労働日

森 田 成 也

書 評

稲葉威雄『会社法の基本を問う』(中央経済社、2006年9月刊、194頁)

石 川 純 治

第39巻第1号 (2007年9月)

論 説

ナイチンゲールの伝染病論と社会改革

— チャドウィック公衆衛生改革との関係をめぐって —

友 松 憲 彦

ランダム・マッチング社会における自発的継続囚人の

奥野(藤原)正寛

ジレンマゲームでの情報の役割について

グレーヴァー香子

鈴 木 伸 枝

第39巻第2号 (2007年10月)

論 説

所得格差の拡大と株式市場	代 田 純
現代ドイツ会計における「意思決定」概念の制度性	
－「付すべき時価」の導入をめぐる－	石 川 祐 二
標準労働日の概念と標準強度	森 田 成 也

第39巻第3号 (2008年2月)

里中恆志先生退任記念号

時代と人と	山 縣 弘 志
寡黙な情熱家	森 岡 仁

論 説

リカードゥ減債基金と低金利経済	里 中 恆 志
戦後日本の人口変動	森 岡 仁
自発的継続囚人のジレンマにおける協力的戦略の動学的安定性	鈴 木 伸 枝
公営企業の民営化と長期的監査	館 健 太 郎
	齋 藤 雅 元

An Essay toward a General Proposal for the Consumption Reduction Policy among the Developed Countries	
－ From a Global Point of View of the Class Analysis －	Setooka Hiroshi
里中恆志 先生 略歴／研究業績一覧	

第39巻第4号 (2008年3月)

岩下 弘先生退任記念号

時代と人と	山 縣 弘 志
岩下先生の退職を祝して	曾 我 信 孝

論 説

IMF = OECDの直接投資統計改訂議論にみる	
多国籍企業内国際投資マネーフロー	小 西 宏 美
三位一体改革後の地方債と金融機関	代 田 純
1990年代以降における EU の農業構造の変化と農業者団体の動向	
－ CAP 改革との関連を中心に－	溝 手 芳 計
リレーションシップバンキングの機能強化の方策について	
－市場主義的リレバン論批判－	齋 藤 正
岩下 弘 先生 略歴／研究業績一覧	

総 目 次

第40巻第1号 (2008年9月)

論 説

「ブルジョア」カテゴリーと「経済学」の形成

－イギリスにおける「ブルジョア」の登場と貧困問題－

阿 部 弘

資 料

今日のアメリカ経済・社会事情にかんする断章集

－他の諸国の事例との対比をととして－

瀬戸岡 紘

第40巻第2・3合併号 (2008年12月)

論 説

ルベーク積分とその経済学における応用 (1)

松 井 柳 平

研究ノート

関数解析への導入

松 井 柳 平

高等学校における職業学科と商業高校

番 場 博 之

第40巻第4号 (2009年3月)

論 説

アメリカ株式市場における自社株買い

－擬制資本への投資と利潤の実物資本への不転化－

小 西 宏 美

高等学校における商業教育の変遷 (上)

－産業構造の変化と学習指導要領改訂の関連性から－

番 場 博 之

マルクス剰余価値論と「リカードのドグマ」

－マルクスにおける絶対的剰余価値論の形成・発展・限界－

森 田 成 也

資 料

アメリカはほんとうに変わるのか

－アメリカの深層事情とオバマ新政権－

瀬戸岡 紘